

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 25 号	氏名	関端 徹
学位審査委員	主 査	藤井 弘之	
	副 査	原 宜興	
	副 査	水野 明夫	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、長期メンテナンス受診者における抜歯に関連する要因を明らかにしようとしたものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 歯科疾患を予防する目的で長期メンテナンスを定期的に受診している患者を対象として実施されている。分析に用いた指標は、3ヶ月に一度のメンテナンス時の記録から転記されており、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 抜歯に関連する要因間の影響を排除するため、多変量の2項ロジスティック回帰分析を実施している。その結果、無髄歯における抜歯は、有髄歯と比較してオッズ比が6.6と最も大きく、歯牙の保持には、歯髓の保存が重要であることを示した。抜歯を予防するには、抜髄に至らない歯科的な管理が必要であることを示した点で大きな意義を有する論文である。</p> <p>以上のように本論文は、歯牙を保持するための歯科保健管理体制のあり方に対する貢献は大であり、審査委員は全員一致で博士(歯学)の学位に値するものと判断した。</p>			